

令和7年度 第4回君津地区公民館運営審議会

資 料

君津中央公民館
八重原公民館
周西公民館
周南公民館

各館事業報告

君津中央公民館 令和7年度事業報告(令和6年度答申を受けての成果と課題)

1 令和7年度重点取組分野

「人と人とのつながりの再構築」

同じ課題意識を抱えた人の交流の機会や、自治会館などを活用した地域に出向く事業を創出することで、地域ネットワークの再構築や地域自治能力の向上を目指す。

※主な予定事業：「君津中央公民館だより『ひこぼゆ』発行事業」「子育て・家庭生活に関する学びとつながり事業」「身近な暮らしや地域のテーマに関する事業」「高齢者の暮らしの課題に関する事業」など。

2 重点取組分野の成果と課題(事業別)

(1)課題解決学習推進事業

〈概要〉

答申で指摘された「目的性のある交流の場づくり」「同じ課題を抱える人々のつながりを、時間をかけて深めていく事業」に主眼を置き、①「子育て・家庭生活」、②「高齢者の暮らしの課題」、③「身近な暮らしや地域のテーマ」等の事業を展開した。

① 一緒に話そう、考えよう～引きこもり・不登校支援について～

引きこもりや不登校といった課題に対して関心のある方を対象に、参加者同士で語り合い、考える機会を作り、支援の輪を地域に広げるきっかけを作る。

- ・第1回「出たくない」「出られない」を抱えた人について考えよう

3月14日 6名申し込み(3月9日時点)

- ・第2回 フリースクールを見学しよう

3月19日 5名申し込み(3月9日時点)

② 元気を見つけに出かけよう！(全3回)

明治安田生命とタイアップし、高齢者を対象としたフレイル予防や介護についての勉強会を実施。また、高齢者が参加しやすいように地域団体と連携を取りながら、会場を公民館だけでなく地域の自治会館で行った。

- ・第1回「中央公民館に集まれ！みんなで楽しくフレイル予防！」

2月13日 10名参加

- ・第2回「久保ふれあいサロンとコラボ」

2月20日 30名参加

- ・第3回「下湯江に集まれ！今から知る、今日から始める介護のそなえ」

2月27日 4名参加

③ みんなでチャレンジ

身近な共生社会の実現を目指し、「障がい者の生涯学習」と「障がいへの理解を深める地域ネットワーク構築」の両面を織り交ぜた事業を実施した。

- ・第2回 みんなでコラボ「みんながつながるクリスマス」

12月21日 7名参加

- ・第3回 結果にコミット!?ヨガにみんなチャレ!

1月18日 4名参加

〈成果〉

- ・障がい者の生涯学習推進事業（本年度「みんなでチャレンジ」）は、実施から3年目を迎え、当事業や「あいあいカフェ」など身近な障がい者への理解を深める地域ネットワークづくりを目指す事業を通じて、関係事業所等との連携がより深まってきている。
今年度はインクルーシブを目指す取組として「みんなでチャレンジ」、「あいあいカフェ」と連携した「みんながつながるクリスマス」を開催し、70名の来場があった。
- ・公民館サークルと地域のふれあいサロンとの連携事業により、サークルには発表や活躍の場を地域ふれあいサロンには公民館やサークル・団体とのつながりのきっかけを作ることができた。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・新規予約システムの導入や文化祭の実施に想定以上の時間を要したため、後半に事業が集中してしまった。
- ・参加者数の状況からするとテーマ、内容、周知の方法に改善を要する。

(2)コミュニティ活性化事業

〈概要〉

答申では、自治会、地域団体の運営困難、衰退などが指摘されている。当地区でも青少年健全育成関連団体が運営上の課題を抱えており、今年度は青少年健全育成連絡協議会への支援に重点を置き、今後のあり方についての具体的検討、協議を支援した。

また、公民館日より「ひこばゆ」では、自治会、地域団体などを積極的に取り上げることで、読者の地域への関心を高めることを図った。

〈成果〉

- ・青少年健全育成団体支援については、役員の担い手不足や活動の重複などの課題の解決に向けて、学校や関係団体とともに10回以上の協議を重ねてきた。その結果、学校運営協議会を中心とした新たな体制を構築し、それぞれが担っていた機能を集約することにより、一体的に事業が推進できるよう支援を行った。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・青少年健全育成団体の新体制が順調に運営できるように引き続き支援を行っていく。
- ・自治会回覧方法の見直しがあるため、地域と公民館をつなぐ新たな周知方法、ツールを検討する必要がある。

3 公民館運営、主催事業などに関する全体的な成果と課題

〈成果〉

- ・ここ数年「ひこばゆ」や文化祭特別企画の工夫など、継続して地域団体や自治会と関わりを深めている。さらに、君津高校との連携事業、テスト期間中のフリースペース提供等により、公民館にこれまで縁遠かった若者達との関わりも増えている。
- ・上記の取組みによる成果の象徴的な例として、地域や若者とのかわりが評価され、令和5年度の文化祭特別企画が「さわやかちば県民プラザ主催 第7回ちば講座アワード」（令和7年度実施）で千葉県社会教育委員連絡協議会長賞を受賞した。

〈課題〉

- ・公民館を利用している方が固定化しており、まだまだ知名度・認知度が低い。新規利用者の獲得に向けて、関心の高いテーマや気軽に参加できる事業を増やすなど工夫が必要。

令和7年度 主な主催事業の実施状況

君津中央公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	君津地区公民館運営審議会	会議(4回) 委員12人	・公民館運営審議会4回
コミュニティ活性化事業	利用者説明会	1回(3/26実施予定)	・「あなたの知らない公民館の世界」 ・施設の使い方と公民館からのお願ひ ほか
	利用者懇談会	5回(1月～2月) 計163人	・公民館開館時間・休館日等について ・新施設予約システム説明及び操作研修 ほか
	サークル・団体活動・社会教育関連の地域諸団体への支援・協力	随時	・サークル・団体・利用者みんなの会への活動支援 ・青少年相談員活動支援・おもちゃ病院支援 ・青少年健全育成連絡協議会支援 ・子育てサポーター「さぼっと」支援
	公民館だより「ひこばゆ」	3回(6月・12月・3月発行)	・378号:君津地区青少年相談員の紹介 ほか ・379号:あの戦争を忘れない 文化祭開催 ほか ・380号:君津中央公民館スペシャルクイズ ほか
	第61回君津中央公民館文化祭	11/1～11/3 延べ1,474人	・戦後80年を契機に文化際のテーマを「いつまでも平和な楽しい地域を」に決め、舞台発表、作品展示、体験企画、特別企画「ジモトピースフェス」などを実施 ・実行委員会(4回)、グループ会議(各グループで実施)
青少年教育事業	公民館子どもクラブ	9回(6月～12月) 子ども134人 高校生164人	・君津高校教員基コースと連携して事業を実施。夏の活動は公民館が企画を行い、高校生が運営のサポートを行う。また、冬の活動は高校生が企画・運営を行う。高校生が企画・運営ができるように事前授業を行う。
	令和7年周西南中学校区20歳のつどい	6回 実行委員7名 当日参加者 82人	・実行委員会計6回(会議5回、リハーサル) ・実行委員会企画として仲間たちへのインタビュー、地域のクイズ大会、くす玉を実施した。
課題解決学習推進事業	保育協力者研修	1回(7/9) 10人	・公民館保育について ・情報交換会
	一緒に話そう、考えよう～引きこもり・不登校支援について～	全2回・3月実施予定	引きこもり・不登校という課題の当事者又は関心のある方を対象に実施 第1回『「出たくない」「出られない」を抱えた人について考えよう」(3月14日) 第2回「フリースクールを見学しよう」(3月19日実施予定)
	令和7年度人権問題学習講座「子どもの権利を考える、子どもと大人の幸せのかたち」	1回(9/26) 32名	・川崎市子どもの権利条例の背景について ・子ども参加での条例作りについて ・サポーターが考える子どもの権利・人権について ・グループワーク
	元気を見つけに出かけよう!	全3回(2月実施) 合計44名	地域集会所施設を活用し事業を展開することで、中央公民館に縁遠い方や遠距離で公民館まで来られない方が参加しやすいう工夫して実施した。 第1回「中央公民館に集まれ! みんなで楽しくフレイル予防!」 第2回「久保ふれあいサロンとコラボ!」
	障がい者の生涯学習推進事業「みんなでチャレンジ」	3回(11月～1月) 20人	・障がい者の生涯学習推進事業として山のぼり、バザーでの売買体験、ヨガなどを実施。 ・保護者や関係者がつながることができるように懇談会を実施した。
	助けあい・支えあい広場 あいあいカフェ	40回(12月末時点) 1,605人(12月末時点)	・当館対象地域内で働く障がい者、地域住民との相互理解を進める機会として就労継続支援施設の商品販売とボランティアのセルフドリンクコーナーによるミニカフェを実施。 ・ドリンク売り上げ寄付(能登半島地震義援金・ユニセフ) ・運営上の都合により1月～3月は休止となった。
	ゆるやかな地域ネットワーク形成事業「君津中央公民館ボンコツ村」	前編7回(8月～11月実施)74人 後編4回(3月)予定	・地域の人のゆるやかな交流の機会づくりを進める。 ・調理実習、レクリエーションほか文化祭、君津亀山青少年自然の家事業等にボランティア参加。
	分館事業	貞元を知って楽しむ講座	1回(1/31) 22人

令和7年度 主な主催事業の実施状況

生涯学習交流センター

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
市民相互交流 促進・生涯学 習促進事業	子育て支援交流会「おしゃべり広場」	1回(8/25) 8人(保育5名)	①子育てのためのレジリエンス(心のしなやかさ)を高めよう！～夫婦のコミュニケーションで自己肯定感アップ～ ②グループワークによる分かち合い
	「思春期おしゃべり広場」	1回(7/31) 10人	思春期の子を持つ保護者等を対象に夜間におしゃべり広場を実施。思春期のかかわり方についての寸劇の紹介やグループトークを行った。
	市民交流イベント 「THE縁JOY日 (ザエンジョイデイ)」	1回(3/22実施予定)	地域の高校生や中学生、市民の皆さんと協力して参加者が楽しめるイベントを実施。事前会議3回実施予定
	現代社会地域セミナー	5回(7月～1月) 58人	・さわやかちば県民プラザのちばアカデミア講座のサテライト会場として実施。内容は『ウェルビーイング ～よりよく生きるためのヒント～』、『最先端技術・データを活用した地震の理解』等
	スマホ講座	計6回(9月～1月) 71人	・基本講座(10回) ・応用講座(2回) ※1回に複数の講座を実施
	コミュニケーションに活かす 傾聴講座	3回(11月～12月) 34人(保育7人)	・傾聴ってなあに ・傾聴による心の変化 ・鏡になる
子ども相互交 流事業	こっころ一む事業	40回(4月～3月) 447人	・今日の絵本はなにかな?(11回) ・布絵本であそぼう(12回) ・親子で一緒にハーモニカと(11回) ・ぐるんばと遊ぼう(1回) ・季節イベント(5回)

八重原公民館 令和7年度事業報告(令和6年度答申を受けての成果と課題)

1 令和7年度重点取組分野

「地域活動の担い手育成と地域団体とのネットワーク構築」

地域への関心・理解を深める事業を実施し、地域住民が公民館活動に参加するきっかけを作る。継続的に公民館活動に参加する人を増やし、地域活動の担い手となるような人材の育成を図る。

自治会や子ども食堂といった地域団体の活動を支援し、具体的な連携の機会を持つことで公民館とのつながりを強め、今後の地域づくりを見据えた関係性の構築を目指す。

※主な予定事業：地域再発見事業、館報八重原、地域団体・関係機関との連携事業

2 重点取組分野の成果と課題(事業別)

(1) 課題解決学習(学びなおし)支援事業

〈実施内容〉

「セカンドライフ応援講座」(全2回)

アクティブシニア層(仕事や趣味、社会活動に意欲がある概ね65~75歳前後)を対象に人生100年時代と言われる長い高齢期を生き生きと過ごすためのポイントや心構えを学ぶ講座。講座では地域活動に関する情報提供を行い、地域活動に参画する人材の掘り起こしを目指した。

○第1回「健康寿命・幸福寿命を延ばすセカンドライフの過ごし方」

理想のセカンドライフとは何かを見つめなおし、地域社会で豊かに生きるために、日常生活の中でできる「タネまき」について考える。

3月14日(土) 39名参加申込(3/10現在)

○第2回「ゆとりある老後生活のための、上手なお金の使い方」

3月28日(土) 32名参加申込(3/10現在)

〈成果〉

- ・60代の参加申し込みが約半数。第二の人生を充実させたいというニーズが伺えた。
- ・少し先の自分自身の変化を見越して身近な地域に目を向け、地域社会とゆるやかにつながりを持ち続けることの重要性を学んだ。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・講座参加者の継続支援。公民館の日常的な学習相談窓口として地域活動に。
- ・次年度予算減で専門家の招聘が難しくなるため、事業の実施に一層の工夫が必要である。
- ・今後も人材と地域活動をマッチングできるような事業を行っていく。

(2) 八重原地区地域づくり協議会支援

〈実施内容〉

・昨年10月から発起人を中心に打ち合わせを重ねる。地域づくり課とともに支援を行っている。

- ・ 2月24日（火）説明会を2回実施、延べ24名参加。
- ・ 3月12日（木）準備会キックオフ。今後1～1年半をかけ、協議会発足を目指していく

〈成果〉

- ・ 準備会参加申込者26名（3/10現在）。徐々に参加者が増えている。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・ 若い世代の参画を促したい。
- ・ 公民館本来の役割を活かし、対話の場づくりを十分に行い、互いの思いや考えを共有することを重視したい。
- ・ 地域の既存の組織や団体、連携の状況、地域資源等について情報収集を進める。
- ・ 社会福祉協議会の区割りおよび学区と、公民館対象区域とのずれが課題との意見。

（3）コミュニティ活性化事業

〈実施内容〉

開館30周年記念事業に向けて

〈成果〉

- ・ 3月13日準備会を実施
- ・ 令和8年度第30回文化祭での記念セレモニー、記念事業の実施、記念誌作成を予定。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・ 地域づくり協議会準備会との兼ね合い（人が重なっている）

3 公民館運営、主催事業などに関する全体的な成果と課題

〈成果〉

- ・ 時事や世代の関心、ニーズを踏まえ、地域の歴史・人権（手話、松本ピアノ）、セカンドライフといったテーマで講座を実施し、中高年世代を中心に参加者が増加した。
- ・ 家庭教育学級、親子体験教室を連続実施し、乳幼児～小学生の保護者層の参加が得られた。
- ・ 生涯学習文化課、久留里城址資料館、市内公民館との連携事業を実施し、内容の充実を図り、効率、実績を上げることができた。
- ・ 連携事業や館報取材を通じて地域団体や自治会と関わりを持つことができた。

〈課題〉

- ・ 各種学級講座参加者の継続的な参加や、次の活動につなげる働きかけが必要である。
- ・ 予約システム更新や休館日設定を受け、サークル・団体の支援、育成を引き続き行う。
- ・ 30周年事業と地域づくり協議会支援との両立を図りつつ、効率的効果的に主催事業を実施していく。

令和7年度 主な主催事業の実施状況

八重原公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	君津地区公民館運営審議会	会議4回ほか 学習会等 委員12人	令和6年度答申を受けて事業評価、成果と課題
管理運営事業	サークル団体研修会	1回 64人	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の基本的な役割について ・公民館の使い方、サークル活動について ・避難訓練
コミュニティ活性化事業	館報「八重原」発行・編集委員会	年3回発行	第137号：地区役員紹介／第138号：戦争体験を聞く、学校・地域行事の紹介／第139号：20歳のつどい、地域の人物紹介、地域づくり協議会について
	第29回八重原地区ふれあい文化祭	R7.11.8~9 来場者数 2日間で約 2200人	<ul style="list-style-type: none"> ・展示、ふれあい広場（模擬店）、催し物（体験）、音楽芸能部門の4部門を実施 ・「松本ピアノと戦争」、「埋もれた古代寺院」と題した特別企画を実施 ・館内クイズラリー、シールラリーを開催
青少年教育事業	八重原こども体験教室	5回 68人	<ul style="list-style-type: none"> ・巨大パチンコ作り ・木の実を食べてみよう！ ・焚き火と手作りおやつ ・生き物を実物大に描く！ ・廃油石けんを作ろう！
	親子体験教室	5回 134人	<ul style="list-style-type: none"> ・小糸在来を育てる（苗植え） ・読書感想文の書き方 ・電子オルゴールを作ろう ・パパとキッズのはじめてのジビエ料理体験（周南公民館との共催） ・小糸在来 収穫 手製のくんせい器でくんせいづくり
	20歳のつどい（君津中学校区）	会議含む 168人	実行委員会4回（集いの企画、20歳のメッセージ等）
	20歳のつどい（八重原中学校区）	会議含む 94人	実行委員会5回（集いの企画、20歳のメッセージ等）

令和7年度 主な主催事業の実施状況

八重原公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
課題解決 学習推進 事業	八重原地区家庭教育 学級	9回 173人	<ul style="list-style-type: none"> ・開級式&レク ・多肉植物の寄せ植え ・ジュース実験室&水遊び ・米粉のお菓子作り ・ハロウィンパーティー ・ピラティスでリフレッシュ! ・焚火を楽しもう ・イヤイヤ期、反抗期を学ぶ ・レク&閉級式
	はじめてのやさしい 手話	2回 46人	<ul style="list-style-type: none"> ・「聴覚障がい」とは?/手話のしくみ ・基本的な手話 ・日常よく使う手話/非常時の手話
	松本ピアノと戦争 -ピアノ工場が軍需工 場となった日-	1回 44人	<ul style="list-style-type: none"> ・松本ピアノ工場と戦争との関わりについて 解説 ・久留里城址資料館による資料展示 ・松本ピアノ演奏
	地域再発見講座講座	2回 48人	<ul style="list-style-type: none"> ・君津の歴史概要、八重原の史跡解説、拓本 体験、九十九坊廃寺跡区発掘調査プレ報告 ・「八重原歴史の道マップ」を活用した史跡 巡りと解説
	セカンドライフ応援 講座	2回 70人	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命、幸福寿命を延ばすセカンドライ フの過ごし方 ・ゆとりある老後生活のための上手なお金の 使い方
	八重原公民館スマー トフォン講座	2回 24人	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの使い方 ・生成AIの使い方 ・新しくアプリをインストールする方法 ・スマートフォンを安全に使うための基本的 なポイント
	あったかふれあいサ ロン (八重原会場 分)	6回 113人	<ul style="list-style-type: none"> ・ALSOKホットライフ講座 ・あなたは大丈夫?フレイル予防 ・3B体操と篠笛/太鼓演奏 ・きこえと脳の健康/難聴と認知症の意外な 関係 ・日常食を非常食に ・長板中型/講義と染物体験

周西公民館 令和7年度事業報告(令和6年度答申を受けての成果と課題)

1 令和7年度重点取組分野

「地域づくりへのアプローチ」

令和6年度より、本市の新たな地域づくりの仕組みとして「きみつ地域づくり協議会」制度が開始され、周西地区では同年6月より設立準備会の動きが始まった。そこで当館では、令和6年度君津地区公民館運営審議会の答申を踏まえ、地域づくりに取り組む住民、団体への伴走支援を進めるとともに、多様な方々が地域づくりに参加できるきっかけづくり、関連する学びの機会の創出、新たな動きに向けた地域機運の醸成を図る。

※主な予定事業：周西地区地域づくり協議会支援事業、地域課題解決支援事業 等。

2 重点取組分野の成果と課題(事業別)

(1) 周西地区地域づくり協議会支援事業

〈実施内容〉

令和6年度公運審答申において示された「地域づくり協議会が指導する中で特に求められること」の8つの視点を踏まえ、地域づくり課との連携により伴走支援に取り組んだ。

①設立準備会期間の設立準備会運営及び伴走支援

- ・運営チーム会議 4/3、5/14、5/29、6/10、7/9、8/12、8/19、9/19

合計8回実施、延べ49名参加

- ・設立準備会 4/14、5/21、6/21、6/24、7/23、8/27

合計6回実施、延べ90名参加

②団体発足後の伴走支援(以下、団体の活動)

- ・設立総会 9月28日(日) 22名参加

- ・全体会議 10/15、2/12 合計2回 25名参加

- ・運営委員会 10/7、11/12、12/10、1/14、2/12、3/3、3/25(予定)

合計7回 延べ45名

- ・全体事業 11/7-8 地区文化祭特別展・出店 3/21 レインボーマルシェ参加

- ・グループ活動(地域食堂、コミュニティカフェ、スタンプラリー 等)

〈成果〉

- ・9月に「周西ファンBASE」が発足し、10月24日には市の「地域づくり協議会」としての認定となった。地域内外の方、多様な立場の方が集い、「つながり」を作ることで地域づくりを目指した活動が展開され始めている。

- ・初年度となる半年で、組織運営の検討、情報発信、計画していた事業やグループ活動の具体化に着手し、その形が具体化しつつある。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・従来の団体と異なる成り立ちや構成の組織であり、地域住民はもちろんのこと会員自身にも、その性格や方向性が十分に認知されていない現状がある。様々な具体的な活動を通して、理解を広められるよう支援していく。また、組織運営上の基本的な流れや組織内情報共有の方法も手探りの段階であるため、丁寧な支援が必要な時期になっている。
- ・周西公民館との共同事業も計画されているため、着実にその実施に取り組む。

(2) 地域課題解決支援事業（周西ひだまりひろばプロジェクト）

〈実施内容〉

令和6年度公運審答申において示された、周西地区の課題「つながり・コミュニケーション」及び、これからの公民館への提案「誰にでも開かれた「居場所」「活躍の場所」であること」の2点へのアプローチとして、「場」の活用のノウハウを地域住民に蓄積し、公民館ではない場所（例：自治会館）などへ将来的に展開をすることを目指し、公民館のギャラリー及び芝生のエリアの新たな活用方法を住民有志と一体となって検討し、実装することを目指し、取り組みを進めた。

① プロジェクトミーティング（メンバー 5名）

- ・ 12/ 3 プロジェクトの方向性と今後の見通しについて
- ・ 12/18 学習会「周西公民館はどのように考えられて設計されたのか」
- ・ 1/13 学習会「場や空間の活用についての工夫や仕掛け」
- ・ 2/ 4、2/25、3/11（予定） 運営に向けた具体的な手法や課題について

② プレイベント&説明会 3/28（予定）

- ・ 5月からの実施に先立ち、PRと企画参加者のイメージの具体化に向けた催しを実施
〔コミュニティカフェ・おりがみ体験・さくら散歩・自然あそび・ミニフリマ〕

〈成果〉

- ・ 公民館の「施設」「場」としての機能を活かす取組、従来とは異なる手法を用いることを試みることができた。
- ・ 住民有志（プロジェクトメンバー）と共に学習・検討を重ね、令和8年5月からの実施に向けて目途を整えることができた。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・ 今後の実装において、一定数の出店・出展などの企画参加者、及び来場者が維持できるよう、説明・周知が必要となる。
- ・ 空間活用の工夫としてのデザイン的な手法や、図書関連企画が継続検討となっている。

3 公民館運営、主催事業などに関する全体的な成果と課題

〈成果〉

- ・ 当館の基本方針「地域の拠点」「学習機会の提供」「地域の教育力及びコミュニティ機能の向上」に向け、多様なプログラムを計画通り着実に実施した。
- ・ 予約システムの更新に際し、説明会の開催や窓口での丁寧な案内を徹底したことで、利用者の不安を解消し、スムーズな運用へとつなげることができた。
- ・ 令和8年度を開館20周年とし、本年度より全体検討や記念誌編集に着手した。節目の一年が意義深いものとなるよう、引き続き準備を推進していく。

〈課題〉

- ・ 公民館における根幹的な状況が変化する中、地域住民の暮らしに寄り添う、より効果的・効率的な公民館運営を模索していく必要がある。

令和7年度 主な主催事業の実施状況

周西公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
コミュニティ活性化事業	周西公民館だより「はまっぺ」編集発行事業	発行4回/年	編集委員とともに企画・取材・編集・校正を行い、年4回発行。地域の情報紙としての位置づけを目指し、地区の人物や場所、出来事を紹介。
	令和7年度 第19回 周西公民館地区文化祭	11/8(土)～9(日) 2日間で2,000人	50の団体・個人が参画し文化祭が運営され、発表、展示、体験、販売の4分野の実施に加え、地域づくりに関する特別展に取り組んだ。
	サークル団体研修会	7/16(木)2回 1/22(木)3回 計5回 のべ95人	公民館の設置目的や基本的な役割や利用について説明し、利用についての理解や、情報交換を深めた。冬季には新たな予約システムについての説明会を実施した。
	開館20周年記念事業準備	役員会議1回 記念誌会議5回	10月に記念事業実行委員会役員会を発足し、次年度の20周年事業の骨子を検討した。また、11月からは記念誌編集委員会を立ち上げ、編纂作業を開始した。
青少年教育事業	すさい子どもキャンプ	7/26(土) 17人	青少年相談員との共催。小学4～6年生対象。清和県民の森・民間キャンプ場にて、デイキャンプを実施。
	すさい子どもバスハイク	3/7(土)予定 17人申込	青少年相談員との共催。小学4～6年生対象。ふなばしアンデルセン公園。創作活動や写真大会を実施予定。
	すさい子ども教室	5回 140人	夏休みと冬休みの宿題は需要が多かった。君津高校の生徒にはボランティアとしての協力をお願いし、子どもも高校生も満足度は高く、双方にとって有意義な機会となった。
	おやこ教室	2回 22人	「料理」と「たき火」の体験を実施。親子で協力し楽しく体験することができた様子だった。
	周西公民館 20歳のつどい	会議含め11回 当日参加者72人	7月より準備開始。11月には実行委員による文化祭模擬店出店があった。「つどい」当日には実行委員企画として、メッセージカードによる「感謝の樹」の作成、「私たちの20年を振り返って」がおこなわれた。
	青少年健全育成講演会「これからの子ども×生成AI」	11/15(土) 30人(オンライン9人含む)	君津市公民館連携事業の一環として「生成AI」を初めてテーマに取り上げた事業を実施。これから社会における生成AIとの向き合い方についての理解を深めた。
課題解決学習推進事業	周西幼児家庭教育学級(たんぼぼ学級)	10回 (閉校3/10) 213人 (1～9回延べ)	新規参加人数は7名(以前に参加、継続参加人数15名)。レクレーションや子育て講座。継続参加者が友だちを連れてくる形で新規参加者が増えた。参加者が自主的に学級を運営していくことができた。
	家庭教育サロン(思春期・不登校カフェこもれび)	5回 19人	学級形式ではなく都度募集で実施。総じて参加者が少なかったものの、満足度は高い。リピーターが多く、保護者同士のつながりができた一方、他団体との連携やサークル化等に発展させることはできなかった。
	みんなのともかつ～1人じゃやらないことをやる～	4回 (最終3/28) 16人 (1～3回延べ)	就労層が参加できるように開催曜日を土日午後を設定した。公民館事業に初めて参加する方が多いが、継続的な参加者も数人いる。交流、自己実現。
	高齢者学級(おとなの放課後倶楽部)	8回 296人	ターゲットはアクティブシニア。全8回を対面で実施。学級生50名のうち皆勤賞16名。毎回楽しく参加できたことや次回も参加したい旨の感想が多くあった。
	高齢者交流事業(お達者倶楽部ゆいまーる)	3回 41人	高齢者を対象にスマホ講座を実施。「基本編」や「応用編」の全3回。満足度は高く、「教えてもらう人がいない」など実生活に基づいた感想やスマホ講座の回数増を希望する意見が多くあった。
	地域課題解決支援事業「自治会長情報交換会」	6/17(水) 7人	6自治会のうち、5自治会が参加。情報交換、周西地区の現状についての意見交換などを実施。
	地域課題解決支援事業「ひだまりひろばプロジェクト」	会議5回のべ23人 3/28(土)プライベート予定	周西公民館のギャラリー・芝生広場の活用を促進し、公民館を新たな居場所・つながりの場として機能させていく取組。令和8年5月より本格実施予定。
	人権関連事業「カフェこもれび公開講座」	3回 18人	コロナ禍を経て、不登校児が増加している。上半期に実施した家庭教育サロン「思春期・不登校カフェこもれび」の参加者の方々の悩みや課題をふまえ、公開講座として実施した(内容は連続しない)。講義、トーク。
その他	地域づくり協議会支援事業	設立準備会24人 団体設立後23人	地域づくり課と共に設立準備会の運営、団体「周西ファンBASE」設立支援、設立後の団体運営への伴走支援に取り組んだ。また、文化祭では団体と共に特別展を実施。

周南公民館 令和7年度事業報告(令和6年度答申を受けての成果と課題)

1 令和7年度重点取組分野

「地域への関心拡大と担い手育成」

自治会活動や地域活動の実態を把握しながら、担い手となる人材発掘や人材育成につながる事業に取り組む。あわせて地域づくりの入り口になるような、多世代の交流と学びの機会づくりを進める。

※主な予定事業：「自治会学習活動応援事業」、「館報ひろば」、「ふるさと運動事業」等

2 重点取組分野の成果と課題(事業別)

(1) 地域に関心を広げる事業(館報ひろば発行事業 他)

〈実施内容〉

□館報「ひろば」発行事業

*年4回発行／フルカラータブロイド版4面／毎戸および小中学生に配付

第285号(6/19)地域を支える消防団！新生4分団が始動／顔／戦後80年・昭和100年
をご長寿に聞く／シリーズけもの／子育て真っ最中 他

第286号(9/18) 夏季事業／戦後80年・昭和100年を聞く／子育て真っ最中 他

第287号(12/18)文化祭報告／ヨイマチ復活／遺族会の語り部に学ぶ／シリーズけもの
／子育て真っ最中 他

第288号(3/5)20歳のつどい／松本ピアノと戦争／こども若者会議に参加して／子育て
真っ最中 他

*編集委員会体制による発行

編集会議：4/8、5/13、5/27、7/8、8/5、8/26、10/7、11/11、11/25、1/6、1/27、2/10、
3/23 計13回 [編集委員：5名(任期3年)]

*関連事業

①第52回周南地区文化祭特別展示(「戦後80年・昭和100年を聞く」インタビュー活用)

②「パパとキッズの初めてのジビエ料理」(9/20)(「シリーズけもの」資料活用)13組28名参加

③「松本ピアノと戦争」講演&演奏(12/20)(「戦後80年・昭和100年を聞く」インタビュー等活用)44名参加

④家庭教育関連事業「おいでよひろば」(3/16)(「子育て真っ最中」のインタビュー等を受けて企画)
※②と③は八重原公民館と共催

□親子 de 冒険山

・第1回 8月9日(土)「真夏のひんやり実験！ドライアイスであそぼう」7組19名

・第2回 11月30日(日)「山で遊ぶ～裏山ロープウェイづくり～」5組12名

・第3回 1月18日(日)「探検！周南の名所～目指せ！周南マスター」6組18名

〈成果〉

・館報で取り上げた地域課題(「獣害」「地域活動の担い手」)や戦後80年にかかる記事を各事業に関連付けて取り上げたことで、様々な世代に対して地域への関心を広げる機会

を生み出した。

- ・積極的に地域に出向き取材や資料収集を行ったことで、館報への関心が高まった。また新たな人材発掘につながる機会にもなった。
- ・地域を知る、課題について触れる機会を体験型学習を通じて継続的に作ったことで、親子で楽しみながら地域の事柄に関心を向ける機会になった。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・地域に関心を向けるきっかけを作ることはできたが、継続的な活動や人間関係の広がりまでには至っていない。関心を持つことから担い手につながっていくような仕組みづくりと継続的な事業が必要である。

(2) ふるさと運動事業

〈実施内容〉

「周南地区自治会活動団体調査」

- ・地域の活動を次世代に知ってもらうための基礎資料として、各自治会内で活動する多様な活動について、地域活動委員会が調査を行った。

調査期間：令和7年6月～令和8年2月

調査対象：周南地区内14自治会(社宅含む)

〈成果〉

- ・サークルとは異なる地域ならではの活動を把握することが出来た。
- ・地域活動委員が調査を行うことで、地域の実態を自分事としてとらえることが出来た。

〈課題・次年度に向けて〉

- ・集めた情報をもとに、地域で行われている活動の傾向や課題を分析することが必要である。またその情報を団体や人材育成につなげていくかを地域活動委員等と共有し進めていく必要がある。

3 公民館運営、主催事業などに関する全体的な成果と課題

〈成果〉

- ・地域の子どもが気軽に公民館に立ち寄ることが増え、子どもだけでなく保護者にも放課後や土日の居場所として公民館が再認知されるようになってきている。
- ・公民館独自の自治会回覧、館報の取材、自治会等への事業支援等地域と積極的に関わることで、地域に即した学びの機会の提供、活動の支援を行うことが出来た。

〈課題〉

- ・HP や SNS といったインターネットを介した事業紹介や情報提供については十分とは言えず、定期的な配信、速やかな配信について改善が必要である。
- ・休館日等公民館の運営体制の変化を踏まえ、職員が地域に出向いたり住民の相談等に関わる体制が損なわれないよう、効果的な事業のあり方について検討が必要である。

令和7年度 主な主催事業の実施状況

周南公民館

分類	事業名称	回数・延人数等	主な内容・題材等
公民館運営審議会	君津地区公民館運営審議会	会議 委員 12人	・公民館運営審議会 4回 ・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会研修会 2回
コミュニティ 活性化事業	館報「ひろば」編集発行事業	5回発行(文化祭特集号含) 編集委員 5人	・編集会議の実施、各号の発行 ・戦後80年に関する記事を掲載
	ふるさと運動事業	委員 14人 20チーム84人(申込数) 4団体発表 1回 17人(小学生含) 1回 49人 14自治会に依頼	・地域活動委員会会議 5回 ・第4回周南ふれあいスポーツ大会(雨天中止) ・郷土芸能継承活動(第52回周南地区文化祭にて発表) ・お飾りづくり ・ふるさと周南ウォッチング(尾車・馬登編) ・自治会活動団体調査の実施(6～2月・14自治会)
	第52回周南地区文化祭	10/25～26 延1,600人来場	・実行委員会、部門別会議、全体作業等開催 ・特別展示「松本ピアノと戦争展」 ・実行委員会企画、作品展示、体験、模擬店
	公民館利用者研修会	19団体 23人参加 19団体 25人参加	・5/24 利用者研修会(救急救命講習 他) ・1/31 利用者研修会(避難訓練・新予約システム講習 他)
青少年教育 事業	青少年キャンプ	8/3(台風の影響により宿泊無) 21人(小5～小6)	・公民館主会場。室内キャンプファイヤー、レクリエーション等 ・青少年相談員と共催
	青少年バスハイク	1回 27人(小4～小6)	・雪のため公民館でレクリエーション大会を実施 ・周南地区青少年相談員と共催
	子ども専用開放デー	夏季休業中4日間 延14人	・小学生向けに公民館を開放
	夏休み企画・ボードゲーム会	1回 9人	・ボードゲーム大会
	夏休み企画・宿題やっちゃん会	1回 3人	・夏休みの宿題を持ち寄って集中的に実施
	夏休み企画・夏の映画会!	1回 16人(就学前～小学生、保護者)	・16ミリ映写機による映画鑑賞会
	みんなde宿題・習字編	1回 17人	・書初め練習
	卓球体験会	1回 5人	・公民館利用サークルによる卓球体験会
	周南地区20歳のつどい	1回 68人	・実行委員会 ・参加者へのインタビュー 等
課題解決学 習推進事業	農業講座	6回 延47人	・裏山遊歩道草刈 等 ・公開学習会「若い世代が語るこれからの農業の可能性～佐倉市の米農家「ビオ農縁」に学ぶ～」
	家庭教育関連事業	1回 14人 1回 3月実施予定	・保育協力者合同研修 ・おいでよひろば
	親子de冒険山	3回 延51人	・科学実験／裏山ロープウェイ／地域探検
	パパとキッズの初めてのジビエ	1回 13組 28名	・ジビエについての講義、調理実習 ・八重原公民館と共催
	周南寿学級	10回 延226人	用心しよう!詐欺の対策&防犯・防災グッズ紹介／夏の音楽鑑賞会(君津高校弦楽部)／周南の古墳、あれこれ 他
	認知症カフェ「すなみほっとサロン」	12回 延187人(2月末時点)	・認知症予防・健康学習／レクリエーション 等 ・ブログやHPで情報発信
	人権学習推進事業	1回 44人	・「松本ピアノと戦争ーピアノ工場が軍需工場となった日」講演&ピアノ演奏(文化祭特別展示およびオープニングにて関係展示イベントを実施) ・八重原公民館と共催
	セカンドライフ支援事業	3回 延51人	・週末にとどのう 本格!インドヨガ(終了後サークル化)
	自治会学習活動応援事業	1回 10人 1回 28人	・皿引自治会「農地法と農業地域計画について」(学習支援) ・常代自治会「避難所運営ゲームに挑戦」(自治会共催)
	地域福祉関連事業	6回(周南会場分) 延66人(2月末時点)	・あったかふれあいサロン(企画運営:かまちよろ会議) ・共催:君津東地区社協・八重原公民館
	スマートフォン活用講座	1回 11人 1回 6人	・「地図アプリを使おう」「カメラを使おう」 ・「インターネットを使ってみよう」「スマートフォンを安全に使うためのポイントを知ろう」
	地域・学校連携事業	1回 6人	・周南地区行事予定連絡調整会議
災害・防災関連事業	1回 28人	※自治会学習活動応援事業 再掲	
その他	青少年健全育成活動	29回 延522人	周南地区青少年を健全に育てる会への参加、協力 ・各種会議 ・夏季防犯パトロール(6回) ・交流事業(いやさか君津おどり参加) ・「あい♡らぶ周南フォトコンテスト」の開催 ・あいさつデーの実施(各学期×5日間)